

2019年（平成31年）3月13日

## 輸送動向について（平成31年2月分）

### 1. 輸送概況

今月のコンテナは、エコ関連物資が関東地区における建設発生土、焼却灰輸送が順調に推移したことから、大幅に前年を上回った。また新潟・東北発において好調な発送となった紙・パルプ、関西・東北地区間を中心に鉄道へのシフトが進む積合せ貨物、販売好調な家電・情報機器も前年を上回った。

一方、自動車部品が九州発着で低調に推移したほか、化学工業品・化学薬品は需要減少に伴い減送となった。農産品・青果物では北海道産馬鈴薯が生育不良により在庫薄となっていることから、低調な出荷状況となった。コンテナ全体では前年比100.2%となり、前年を上回ることができた。

車扱は、石油が暖冬に伴って灯油を中心に販売不振となっていることから、低調な荷動きとなったほか、セメント・石灰石は工場の設備不具合等により前年を下回った。その結果、車扱全体では前年比90.7%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比96.9%となった。

### 2. 輸送実績

（単位：千トン、％）

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,730	1,726	100.2%	18,268	20,315	89.9%
車 扱	828	913	90.7%	8,174	8,372	97.6%
合 計	2,558	2,639	96.9%	26,442	28,687	92.2%

### 3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、％）

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	151	156	-5	96.7%
	化学工業品	156	162	-6	96.5%
	化学薬品	122	126	-4	96.9%
	食料工業品	261	264	-3	99.1%
	紙・パルプ	233	225	8	103.4%
	他工業品	127	132	-5	96.4%
	積合せ貨物	225	220	5	102.0%
	自動車部品	73	80	-7	90.9%
	家電・情報機器	34	33	1	101.1%
	エコ関連物資	53	37	16	143.9%
	その他	295	291	4	101.4%
	コンテナ計	1,730	1,726	4	100.2%
車 扱	石油	590	650	-60	90.8%
	セメント・石灰石	105	116	-11	90.6%
	車 両	83	89	-6	92.3%
	その他	51	59	-8	87.4%
	車 扱 計	828	913	-85	90.7%
合 計		2,558	2,639	-81	96.9%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）